



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年4月3日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

古代魚から学んだ「生命の進化」

3日(日)=1、3面



迫る

水族館「アクアマリンふくしま」（福島県いわき市）の名誉館長を務める安部義孝さん＝写真＝は、自然災害とパンデミック（世界的大流行）を進化に結び付けて考えています。きっかけは、東日本大

震災で停電などが発生し、混乱する館内で管理が必要な魚が次々と死んでしまった中で、古代魚が生き延びている姿を見たことでした。各地の水族館で新たな展示方法を生み出してきた安部さんは、水

族館関係者から「レジェンド」と呼ばれています。その行動力は国内だけにとどまらず、七つの海で採取活動を行い「水族館外交」も繰り広げてきました。自然を愛したレジェンドの人生に迫ります。

論点

新型コロナ緊急事態宣言から2年

6日(水)=オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大による最初の「緊急事態宣言」が出されてから、7日で丸2年を迎えます。感染の「第6波」のピークを越えたとはいえ、新年度で人の移動が活発化する中、リバ

ウンド（感染再拡大）の兆しも見えています。この2年で私たちは何を教訓として得たのでしょうか。そして感染の「出口戦略」をどう描けばいいのでしょうか。3人の有識者に聞きました。



米大リーグ開幕二刀流の大谷は？

9日(土)＝運動面

米大リーグが7日（日本時間8日）、開幕します。投手、打者の二刀流で活躍するロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手（27）＝写真＝は本拠地でのアストロズ戦で開幕投手を務めます。打順は1番に入る見通しで、昨季はあと

一歩で逃したベーブ・ルース以来の「2桁勝利・2桁本塁打」を104年ぶりに達成できるか、滑り出しも注目されます。こちらもあと少しだった日本選手初の本塁打王のタイトルにも再挑戦となります。熱い戦いを詳報します。

特集ワイド

ポストコロナの病院経営

6日(水)=夕刊特集ワイド

「特集ワイド」では20年春に当時の日本医師会会長でコロナの対応に当たった横倉義武さん(77)＝写真＝にインタビューしましたが、その時に「経営上の医療崩壊はありえる。閉鎖に追い込まれる医療

機関も当然出てくるでしょう」などと気になっていた。あれから2年、病院経営について横倉さんに改めて聞き、ポストコロナの医療などについて語ってもらいました。



新毎日

2月に開催した創刊150周年記念イベントに登壇した作家の五木寛之さんは、心がけていることとして「KEEP ON（続けること）」を口にし、（まもなく90歳となる今）「お連載を続ける五木さん。言葉の重みを感じます。紙面を中心に毎日新聞の魅力をお届けする今この「記事すご」も、今号で1000号。節目を迎えましたが、「今年度も試行錯誤しながら発行を続けよう」と、五木さんの言葉を胸に、心を新たにしています。（中本慎二）

竹橋の窓辺から

編集後記

